



# 釜山港湾労組懇談会

11月4日(火) 釜山港湾 釜山港と日本の港湾の料 金收受システムの違いや日 本の港湾で問題となってい る港湾運送料金の低廉化に 対する労働組合としての運 動方針などを解説した。ま た、共通する話題としては港 湾の自動化に対する労働組 合の対応に質問され、全国 港側では、釜山港側から 事前に送られてきた質問 に対して、全国港湾側が答 える形での対応となった。

港側としては『我々の仕事 によって雇用と職域を守 っていることを説明した。 懇談会は成功裏に閉会し た。』



懇談会の最後には、竹内 中央執行委員長が『引き続き釜山港と日本の港湾の友好と団結の力を強固なものにしていきたい』と挨拶し、

## リレー随筆 「マルサの女」の父の教訓

教宣部の石渡です。  
今年は戦後80年という節目の年であることから、最近読んだ『戦争責任者の問題』というエッセイを紹介したいと思います。

この書物を書いた人物は映画『マルサの女』などの監督で知られる伊丹万作氏。その父である伊丹万作氏。昭和21年に映画雑誌『映画春秋』に寄稿したのが、この『戦争責任者の問題』というエッセイです。

伊丹万作氏のエッセイでは「自分は戦争の犠牲者であり、悪いのは全て政治家と軍部である」と主張する。紙面の都合上、あまり長くは書けませんが、現在の日本の政治や国民性に通じるところもあることから、

なる取り組みの強化について引き続き「団結の力」で以て対峙しましょう。

「戦争断固反対!」「港湾を兵站基地にするな!」(全国港湾委員長・竹内)



やはり何事も過去の失敗や反省から学び、同じ失敗を繰り返さないよう真摯に取り組むことが必要不可欠で、お楽しみに。



「もしも」に備え  
「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

「みんなてたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、皆さまたちと取り組んでいきます。

公式キャラクター  
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 全労済

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。